

## こぼん、やーい！

徳山 望月 一徳

3代目のノラ猫（こぼん）が我が家にやってきたのは平成25年7月でした。2代目のこぼんが腎不全で死んで半年後のことです。

この3代目は、事情があって下関の長府警察署の遺失拾得物の取り扱いになっており、期限が過ぎたら殺処分になる運命にあったものを、縁があって（長女の高校時代の同級生（女性）が、その警察署に勤めていた）我が家の一員となりました。とは言ってもお役所仕事ですから、「猫もらってくれる？」「あいよ！」という訳にはいきません。書類の手続きというものがあって、その年の10月21日の日附けの受領書が届き、住所、氏名、電話番号を記入し、捺印して長府警察署に提出しました。

その後、「猫を飼育していただきまして、ありがとうございます。同日をもちまして、正式に望月様のものとなりました」という、かくも面倒な手続きがありました。

#

個体を受け取ってから、日々成長し家族の一員となってゆく様子は、平成26年の県医師会報新年特集号に「我が家のストーカー」と題して、投稿しました。

話をすすめる都合上、先と重複するところもありますが、その当時とその後の経過をかい摘んで申し上げます。

3代目のこぼんは、体重740グラムで顔が三角形で猫というよりヤマネ（山鼠、リスやネズミの仲間）に見えるほど痩せておりました。

なによりの取り柄は、警察署で可愛がられていたせいか、人をおそれません。

ところが、可愛がって抱っこしているうちに、家族のみんなの体にかいかいできました。家族

の一人が代表になって、皮膚科を受診し真菌感染症と判明し、感染源は猫の耳介の皮膚病であることが、わかりました。

ノラ猫の皮膚病は、先代で経験済みで大騒動することもなく、皮膚科の処方ぬり薬を、猫と人間の“おもやい”にして、解決しました。

その後は、健康診断を兼ねて獣医さんで去勢手術を受けました。初代、2代目もそうしました。去勢と避妊は猫を飼うときの家訓です。

成長しても人懐っこい性格は変わらず、一日中家事に追われて忙しい家内につきまといま

す。台所仕事（足に絡んで、よろけて危ない）、室内で洗濯物を干す（干した物を引っばってじゃまをする）、アイロンがけ（台の上に乗る。本人はじゃまをする気持ちはなく、かまって欲しいという意味表示）、風呂場の掃除（湯船の縁を歩いて落ちそうになる）、トイレまでついてくるので困る（猫だから他言する心配はないとは言え見つめられては、出るものも出んでしょう）と、こぼすほどでした。

余談ながら、猫によっては舐めると西洋式便座の縁にしゃがんで、用を足すことができるか。賢い猫もいたもんです。

だから、他言はしないが用を足しているな、ということの認識はありそうですね。猫だからと言ってバカにははいけません。

さて、私とのスキンシップは夕食時間で、膝の上に乗る、好物の竹輪やスルメを貰うのを楽しみにしておりました。

そのうち食卓を覗き込む内に、油断すると食卓に上がります。降ろす上がるの繰り返しで、時には膝の上から落ちそうになると、しがみつくと

血がにじむこともありました。夏時分では、浴衣の下は裸です。痛いなのなの！

困ったのは、朝ごはんを食べた後、突然スイッチが入った如く、部屋から部屋へ走りまわり、ついには興奮が極地に達すると柱や筆筒、食器棚に駆け上ります。これをたびたびやられますと、爪痕がおびただしく一気に家具の老朽化が進み、見てくれも悪くなりなります。

障子、ふすま、畳は彼のもっとも好むところで、爪とぎと退屈しのぎを含めてガリガリ、バリバリ・・・。

気がつけばただちに叱り飛ばして止めさせますが、音を聞いて駆けつけても、もう遅い。障子、ふすまは破れ、畳はささくれだってまるで貧乏長屋です。

勿論、防禦もおこたりになく柱や家具類には、ビニール製エアークッションを巻きつける、貼りつけるで対応しますが、それが余計に室内の見てくれを損ないます。初代や二代目は老猫でしたので、経験したことがない破壊行為です。その上、築後30年の経年劣化も加勢します。

「貧乏くさくなったな！」  
と、慨嘆すると家内が言います。

「猫を飼っている友人の家は、もっとひどくて絨毯もカーテンもぼろぼろよ！修理代が何十万円もかかったそうよ！」

猫被害は、我が家だけではありません。猫に癒しをもらっている以上、辛抱するしかありません。  
「まあ、いいっか！」

かくして、よく食べ、よく遊んでいるうちに、「歳月人を待たず」とか・。

人ばかりでなく猫も同じです。あっという間に、4年が過ぎて平成29年の秋となりました。

体重は、6キロとなり堂々とした成猫になりました。常々、室内に閉じ込めておりますが、すきを見て脱走します。

家猫は、狩りをする必要はありませんが、半径500mの自分のテリトリーを守りたいという本能を忘れることはありません。だから、パトロールのために脱走します。

異変は、その年の9月1日夜に起きました。帰っ

てこなくなったのです。その日の日記には、“こばん失踪”と書いてあります。

失踪の原因は、1つはパトロール中に喧嘩をして逃げているうちに他の猫の縄張りに入り込み、帰路を阻まれて帰れなくなった。2つ目は、家が快適でないので、家出をした。

思い当たることと言えば、失踪4ヶ月前の平成29年5月に畳のささくれと汚れが、猫のせいばかりでなく経年劣化も手伝ってあまりにひどいので、畳だけ総変えしました。ふすまと障子は、そのままにしました。

だから、新しい畳へのバリバリには、ガミガミと叱ったかもしれません。

それが、猫には不快だったのでしょうか？！

理由はともかく、その日から大捜査の開始です。

捜査の責任者は、もらい受けた長女が1番、2番目は家内、3番目が私、長男は北九州に住んでおり、時々帰ってくるだけなので完全に野次馬です。

そうそう、彼は猫アレルギーがあるので、帰ってくるたびに鼻ズルの上に頭痛がするので、猫はいない方がいいくらいですから、その念力は捜査陣の勘を狂わせるでしょう。それでも、たまたま失踪直後に帰宅した日の夜には、捜査に協力してくれました。

そのうち、長女が掲載のごとき指名手配書を1,000枚もつくり捜査陣一同を驚かせました。さらに、コンビニエンスストアで半径1km以内の地図を印刷し（ゼンリン住宅地図プリントサービスというものがある）、これを見ながら手配書を配りつくしました。

すぐ傍の徳山医師会病院の職員の出入り口にも掲示してもらいました（その後、何カ月もの間、「見つかりましたか？」と声をかけられました）。

地域からは、たちまち反応がありました。そのたびに出かけますが、第1責任者は昼は仕事で出勤できませんので、夜になります。

「似たような猫がいた！」との情報を得て出かけますが、処は民家の立て込んだ路地の奥が多く、時刻は夜ということになれば長女独りでという訳にはいかず、第2責任者の家内が同伴せざるを

得なかった、と当時を振り返り、どこもかしこも暗くて、気味が悪かったと言います。

猫は、夜行性であるということを得た上で（シャーロック・ホームズばりの推理です）、夜に行われる猫の集会所（公園、神社、駐車場など）へも足を運びました。その時刻には第3責任者は、寝ておりました。

それではあまりに無責任なので、1回だけ昼間の捜査に協力し（車の運転）、長女が手配書の配布をしている間、車で待機しましたが、失踪した猫探しは、途方もない雲をつかむような作業だ、と感じ長女の必死の気持ちを不憫に思いました。

地域からの情報はわずか5～6件でしたが、みなさんは丁寧かつ親切に対応してくださり、中には撮影したノラ猫の写真を見せてくれた人もお

られました。

いずれも空振りに終わりましたが、似たような茶トラの猫は、日本中の何処にも溢れるほど居るという証しでもあります。

こぼんの特徴は、口の周りに茶毛模様があることです。しかし、口の周りにあったという漫然とした記憶しかなく、そのために後に大きな失敗をします。

#

失踪した当時の驚き、悲しみ、不憫な気持ち、飼い主に落ち度はなかったか、という自責の念は、時間の経過と共に薄らいでゆきます。神の配慮に感謝のほかはありません。

家族の興奮が一段落し、もうこぼんは帰ってこないかもしれない、という気持ちもあり、猫タワー

# 猫

を探しています！

名前こぼん

**9月1日（金）の夜**

「周南市東山町」（医師会病院そば）  
の自宅から出て行き帰って来ません。

どんな情報でも  
お願いいたします！！







**特徴** 茶トラのオス 4歳 6キロ  
去勢済み しっぽは長いです  
首輪はしていません。  
臆病で、あまり人懐こくはありません。

見かけた方、保護された方は  
下記までご連絡をお願いします。

**連絡先** 望月

も取り外し、家具類からビニール製エアークッションも取り除き、障子とふすまも張り替えました。

室内は、見違えるように綺麗になりましたが、いままでいたものが欠けた寂しさは、容易には埋まりません。

いつの間にか、医師会病院の出入り口の手配書も取り外されておりました。記憶は、過去のものとなりました。

時は過ぎて、平成31年の春（失踪から2年半後）のことです。

いつもの早朝の散歩道（徳山西公園・元京都大学演習林）で、猫を見かけました。我が家から、徒歩5～6分のところですよ。

「あっ、こぼん！！」と思った瞬間、鳥肌が立ちました。あれだけ捜しつくしたこぼんが目前にいる。茶トラで大きさといい顔だちといい、口の周りの茶毛模様といいこぼんそのもの、と思えました。

「こぼん！」と呼べば「にゃー！」と答えます。

こぼんと呼ぶと私の足元で、ごろにゃんします。もう、間違いない。こぼんに違いない！

抱き上げて、「家に帰ろうや！」と声をかけますが、抱かれるのを嫌がります。

3度抱き上げましたが、嫌がって懐から逃げだします。近くにいた婦人が、「お宅の猫ですか？」と誘拐するかのような疑いの目で見ます。

これで、はっと我に帰りました。

立ち去って行く猫を見れば、2年半のノラ猫暮らしにしては、体がきれい、痩せてもいない、皮膚病もなさそう。この猫が、例えこぼんだとしても何処かで餌付けされているのだろう。

そんな生活で満足しているなら、それでよい。本人の自由にしたらよい、という考えがふと頭をよぎりました。それに我が家も障子、ふすまの張り替えをしたしな。

私から離れて、悠然と山に入ってゆく猫を見送りました。しかし、無理やりにでも連れて帰ればよかった、という後悔の気持ちが残りました。

家内には、こぼんに違いないと思う猫を見つけたが、嫌がるので本人の好きに任せたと報告し、この事実は第1責任者には知らせるな、と命じ

ました。

知れば、また必死になって捜すでしょう。こぼんのためにあれだけ尽くしたらもう充分だという気持ちもありました。

散歩は、毎日早朝に出発し同じ道を通り、途中の広場で我流の体操をするので約1時間のお勤めです。

それから数か月後、散歩コースの別の場所で山に入って行く茶トラ猫を見つけました。

「こぼん！」と呼びますが、返事もしません。私も前回、諦めたんだからという気持ちもあり、追いかけることはしませんでした。

しかし、令和元年10月某日は真正面からの遭遇で、口の周りにははっきりと茶毛模様があり、こぼんに間違いなく、どうしても連れて帰りたいという気持ちが、ふつふつと湧きあがりました。そこには手柄を立てたい、第1責任者の喜ぶ顔を見たいという2つの気持ちがありました。

強引に抱きかかえること3回、嫌がること3回。

最後は、手の甲を引っかかれて、出血しました。それでも諦めずに頑張りましたが、猫の強い意志に負けました。網袋があれば連行できるのにと思いましたが、とっさのことには間に合いません。

手柄を立てられなかった残念な気持ちで家にたどり着き、急いでこぼんの写真をつくづく見れば、口の周りの茶毛模様は、左側だけだったことに初めて気づきました。3度の出会いは、すべてこぼんではなかったのです。

第1責任者にこのことを報告したら、今はこぼんが何処かで幸せに暮らしているなら、それでよい、と気持ちの整理がついたようです。

ならば、これからは第3責任者の出番です。口の周りの茶毛模様もしっかりと記憶しました。

だから、今日も「こぼん、やーい！」

令和元年11月吉日

参考文献：

「猫の幸せな生活」加藤由子 著

日本文芸社 平成14年発行

## フォトギャラリー

防府 林 佳子



富士山

目の前に饗え立つ富士山に圧倒されました。地元の人によると、富士山は、いつも姿を現すとは限らないそうです。こんなに近くにあるのに、不思議な思いでした。雨の日、曇りの日は、姿を見せないそうです。幸運に恵まれて橋のところから朝早く逆さ富士が見られると宿の人に教えてもらい撮影に行きました。

3羽の鶴が出雲の地に降り立ったと写真仲間に教えてもらい、写真に収めたいと当地に行きました。1羽は傷ついて飛べないようでした。出雲の人が餌を確保したり、キツネ等の動物に襲われないように、溝を作ったりしていました。あとの2羽は空を飛んでは1羽を気にかけて降りてきていました。その後のニュースでは、仲間を気にかけてつ北の空に飛びたったそうです。



鶴（出雲）

# ヘビノボラズ

徳山 中村 和行

ヘビノボラズはメギ科メギ属の一種で落葉低木です。和名は「蛇上らず」ですが、その木の枝の葉の付け根に三分岐した鋭い棘があって（図1）蛇も上れないということに由来するそうです。またの名は「トリトマラス」（鳥止まらず）で、同じように棘のために鳥も枝に止まれないことが、その名の由来だそうです。

学名は *Berberis sieboldii* ですが、日本の固有種で、本州と九州のやや温暖な土地に自生します。学名の *sieboldii* にあるように、この植物を世界に知らしめたのはドイツの医師でもあり博物学者であるフィリップ・フランツ・フォン・シーボルトです。

シーボルトは、1796年2月17日に神聖ロー

マ帝国の司教領ヴェルツブルクに生まれています。シーボルト家は代々医者の家系で父はヴェルツブルク大学医学部産婦人科教授でした。貴族階級を示すフォン (von) が姓の前に添えられていますが、シーボルトも20歳になったときにバイエルン王国の貴族階級に登録されています。英才教育を受けて1815年にヴェルツブルク大学の哲学科に入学しますが、当然のように医学の道に進むことになりました。しかし、大学在学中に植物学者のネース・フォン・エーゼンベック教授と出会ってから植物学に強く惹かれていきます。さらには博物学や東洋学の研究に興味を持ちます。1820年に大学を卒業した後にシーボルト家の意向もあって国家試験を受けてハイディングスフェルトで開業しますが、東洋学の研究を止め難く、オランダのハーグに赴き、国王の侍医の口添えで

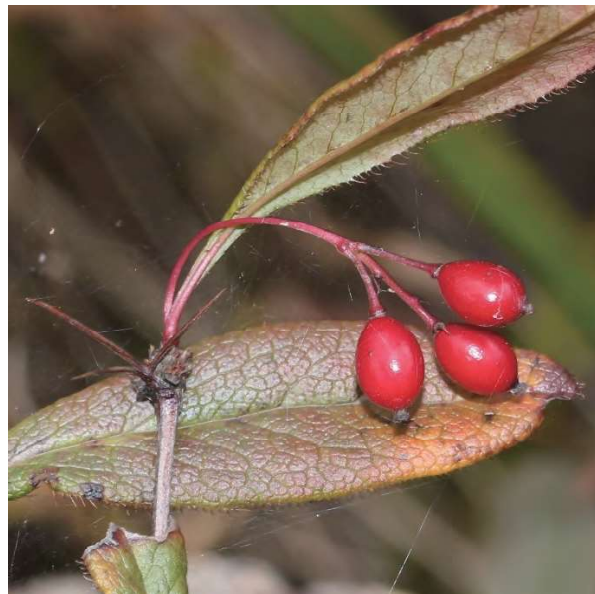


図1：ヘビノボラズの花と実。枝の葉の付け根に三分岐した鋭い棘がある。また、葉の周囲にも小さな棘がある（Wikipedia「ヘビノボラズ」より引用）

オランダ領東インド陸軍の外科少佐に就任しています。1822年9月にロッテルダムから出航し、1823年3月にパタヴィア近郊（現在のジャカルタ市内）の東インド陸軍第5砲兵連帯付軍医として着任し、東インド総督の許しを得て1823年8月に来日しています。

当時の日本は鎖国状態でしたのでシーボルトは長崎の出島に上陸し、オランダ商館医となっています。早速、出島内で開業したシーボルトは翌年に出島の外に鳴滝塾を開設し、西洋医学（蘭学）の教育を始めています。日本全国から多くの医師や学者がシーボルトの講義を受けるために塾生となりました。その医師の多くは蘭方医と呼ばれ、後の日本の西洋医学普及に大きな貢献をしています。シーボルトはその年の秋には『日本博物誌』を書いています。1825年には出島に植物園を造り、1,400種類上の植物を栽培していました。ジャワ島でお茶が栽培されるようになったのは、シーボルトが日本茶の種子をパタヴィアに送ったことに始まると言われています。シーボルトは、これら出島の植物園で栽培した植物の他に、日本で採集した12,000点もの植物標本をオランダに持ち帰っています。今でもその一部はオランダのライデン大学に所蔵されています。

筆者はオランダを訪れた折にライデン大学に立ち寄りました。ライデン中央駅から貸自転車です。ライデン大学界隈をゆっくりと回ることができます。ただ、オランダの自転車のほとんどがコースターブレーキと呼ばれる足ブレーキで自転車を止める構造となっているため、日本の自転車のようにハンドルブレーキが付いていないので初めての方は些か戸惑われるかも知れません。ライデン大学構内には日本庭園が造られており、シーボルトが日本から持ち帰った植物が植えられています。中でも庭の東屋の周囲に植えられているアジサイ（紫陽花）はシーボルトが新種として *Hydrangea otaksa* として記載したのですが、日本の植物学の父と呼ばれる牧野富太郎は、*otaksa* の由来はシーボルトが出島滞在中にお抱え遊女となったお瀧の名ではないかと推察しています。



図 2: 楠本イネの写真 (Wikipedia 楠本イネから引用)

お瀧は長崎の商家の娘でしたが、実家の没落によって源氏名「其扇」でシーボルトお抱えの遊女となりました。シーボルトとの間にできた私生児が、“オランダおいね”とも呼ばれる楠本イネです。楠本は母方の姓です。1829年、イネが2歳の時、父シーボルトは当時の日本の国禁である日本地図や日本国に関するオランダ語翻訳資料を国外に持ち出した罪（いわゆるシーボルト事件）で国外追放になっています。イネは立派に成長し、シーボルト門下の二宮敬作から医学の基礎を、石井宗謙からは産科を、村田蔵六（後の大村益次郎）からはオランダ語を学んでいます。周防の国の鑄銭司の村医者であった蔵六とイネとの出会いとその後の関係については、司馬遼太郎が村田蔵六を描いた原作によるNHKの大河ドラマ「花神」の中にも描かれています。蔵六が京都で襲撃された折には、おイネが献身的に看護しながら蔵六の最期を看取っています。大河ドラマでは蔵六役の中村梅之助がはまり役で、その妻お琴役で加賀まりこ、おイネ役で浅丘ルリ子が出演しています。

さて、イネはヨハネス・ポンペ・ファン・メーデルフォールトから産科や病理学を学んでいます。また、1959年に再来日した父シーボルトからは直接、蘭学を学んでいます。才色兼備のイネ（図 2）ではありましたが、当時の日本では混



血児がまれであったために様々な差別を受けました。しかし、宇和島藩主の伊達宗城の厚遇を受けて、楠本伊篤と改名しています。その後、異母兄弟であるシーボルト兄弟の支援や福沢諭吉の口添えなどで宮内省御用掛に任官され、産科医として働いていました。しかし、1875年（明治8年）に日本で医術開業試験制度が始まり、当時は女性に受験資格が与えられなかったため、イネは長崎に帰郷しています。その約10年後の1884年（明

治17年）には女性にも医術開業試験の受験資格が認められるようになりましたが、イネは受験することはなく産婆として開業していました。その後、娘の高子と同居するために再び上京し、異母兄弟の弟ハインリヒの支援を受けて余生を送り、1903年（明治36年）に東京麻布で76歳の生涯を閉じています。



## 週末は野良仕事

### —眼下の敵—

山口市 緒方 正彦

足元にも様々な生き物が棲んでいます。

#### 虫

コガネムシの幼虫は根を食べて野菜の生長を妨げて枯らしてしまいます。成虫は葉や花や実を食べます。ネキリムシは体長 3～4cm の蛾の幼虫です。土の浅い所に潜んで夜に活動し、野菜の苗や草花を地際で噛み切って枯らします。エンドウ、キャベツ、キュウリ、ジャガイモ、ダイコン、トマト、ナス、ネギ、ニンジン、ハクサイ、ピーマン、ホウレンソウ、レタスなどの根が被害を受けます。

#### 予防と対策

コガネムシは植物の根から栄養を摂っています。収穫が終わったら古い根を除去しましょう。卵の殻を土に混ぜると虫体に傷がついて死ぬらしいです。こつこつ毎日卵を畑に混ぜ込みましたが、ちっとも効果がありません。

ネキリムシはペットボトルの上下を切って筒状にしたもので苗の周囲を囲うと被害を減らすことができます。しかし、鳥がいたずらして倒してしまいます。被害が出始めたら、作物の根っこ周辺を箸で掘って捕捉します。でも 2～3 日見回りを怠るとあっという間に全滅です。予めベイト剤を撒いておくほうが無難です。

#### モグラ

最近、うちの畑にモグラが住み着きました。「これは一大事」。でも調べてみるとモグラは作物に直接害は与えないそうで、畑の虫たちを餌にして生きています。そういえば最近パタッと見かけなくなりました。残念ですがペットショップ

では売っていません。悪さもします。畑を耕してくれるミミズもいなくなりました。また、芝生にも進出してトンネルを作るためボコボコになってしまいました。まあ大目に見てやるか。

#### センチュウ

カイチュウ、ギョウチュウ、フィラリア、マレー糸状虫、バンクロフト糸状虫、アニサキスもセンチュウの仲間です。センチュウは匂いに敏感だそうで、尿検査で癌の診断が実用化されそうです。いやつもいるんですね。

作物に害を加えるのは以下の 3 種類です。

ネコブセンチュウ : 根にこぶができる

ネグサレセンチュウ : 腐れを起こす

シストセンチュウ : 根に卵が詰まった袋を形成する

連中は作物に入り込み、汁を吸って生活しています。こぶを作ったり腐らせたりします。非常に小さいため肉眼では確認できませんから発見が困難です。管理に問題がないのに生育が悪い場合には、センチュウを疑ってみる必要があります。センチュウが好きな作物はイチゴ、インゲン、キュウリ、サツマイモ、ショウガ、ニンジン、ヤマイモ等です。

#### 予防と対策

センチュウに罹ってしまうと薬剤散布しても効果も挙がらないため、予防が大切です。

#### 輪作

連作するとセンチュウが増える傾向があります。各野菜の輪作年限を守りましょう。

### コンパニオンプランツ

マリーゴールドやエンバクなどのコンパニオンプランツを導入することで、減少させることができます。マリーゴールドはセンチュウに対して忌避作用や殺虫作用があります。センチュウ対策用に販売されている品種がオススメです。(タキイ種苗 フレンチマリーゴールド グランドコントロール) エンバクはセンチュウが根に潜り込み封じこめてしまうそうです。

### 米ぬか

米ぬかを畑に鋤き込むことで退治することができます。センチュウには植物寄生型センチュウと自活型センチュウがあります。野菜栽培に問題となるのは植物寄生型です。米ぬかをまくと乳酸菌が繁殖し、それを餌に自活型センチュウが増えます。米ぬかの分解と自活型センチュウの排泄により、土中のアンモニア濃度が高くなり、アンモニア耐性が低い植物寄生型センチュウが減ります。

### 石灰窒素

石灰窒素には殺虫作用があり、作付け前に全面散布します。センチュウは地中で卵の状態越冬し、その間は薬剤が効きにくいので、春と秋の間に施用すると効果が高まります。殺虫剤としての効果が得られた後は、窒素肥料に変わります。撒きすぎるとツルボケを起こすため量には注意しましょう。

### 太陽熱土壌消毒

発生してしまった場合は、後の作物のために土壌消毒が効果的です。夏に石灰やヌカを施し、たっぷりの水を撒いて畝を透明マルチで覆います。60度以上に上がると効果がでます。地中10cmほど消毒できます。雑草の種も死んでしまうので一石二鳥です。マルチを取り去った後は耕してはいけません。深いところの種は死んでいないからです。

### 細菌

土地により住み着く菌は異なります(土着菌)。その地域の環境に適した微生物たちが生き残って

フローラを作っています。病原菌(腐敗菌等)がやってきても、土着菌がブロックしたり、排除したりします。土着菌をうまく増やすことが成功の早道です。

腐敗菌を持ち込まないことも大切です。腐敗菌が入る経路として考えられるのはコンポストで自作した堆肥です。適切な管理ができていれば問題はないですが、まめに切り返しをしたり水分を調整したりと手間がかかります。嫌気状態になると腐敗菌が増えてきて悪臭を放ち、汚泥のような状態となります。今年は暑かったこともあり、コンポストで堆肥を作るのを止めました。すると野菜はみんな元気でした。

### 輪作

連作すると病原菌が増えてきます。暫く作付けしなければ、いずれ土着菌に排除されます。

### 米ぬか

葉の上にいる病原菌は酸性に弱いそうです。米ぬかを使うと乳酸菌が増えて土のpHが下がり、病原菌が増えにくくなります。また、乳酸菌の出す有機酸によって、土に含まれるミネラルを植物が吸収しやすくなる効果もあります。

### 堆肥

土壌微生物を増やす効果もあります。堆肥の原料は植物が主原料のものと家畜ふんが主原料のものがありますが、いずれも堆肥に含まれる有機物が微生物のエサとなります。堆肥自身にも微生物がついているため、微生物の多様性を促すことにもつながります。同じ有機物だけを使うと、それが好きな細菌だけ集まるので良くありません。植物性と家畜ふんをローテーションして使用します。

### カニ殻

土壌中の有用微生物である放線菌を活性化し、腐敗菌を抑制します。土壌の団粒化促進にも効果があり、土壌も柔らかくなります。カニ殻に含まれるアスタキサンチンは花色、葉色、艶を増す効果があります。海のミネラル分が含まれてお

り、不足しがちな微量元素を土壌中に補給します。チッソ分、リン酸分が含まれていますので肥料効果も期待できます。

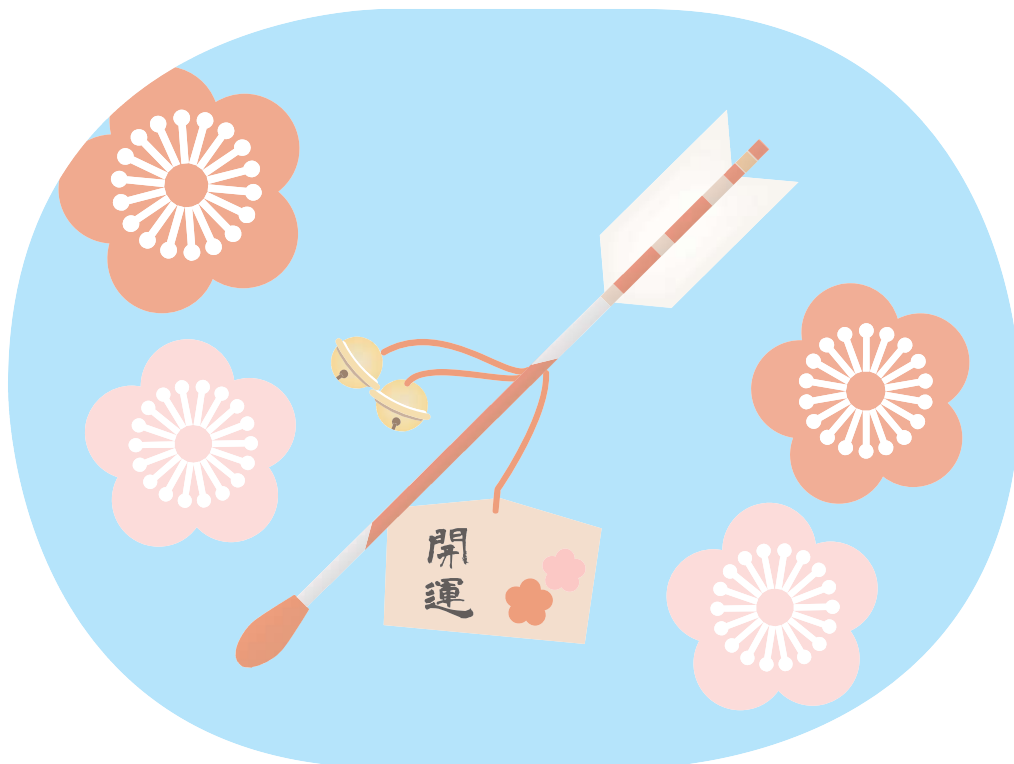
早速試してみたのですが、問題点もあります。とにかく臭い。すきこんだら悪臭はいくらか軽減しましたが、掘り返すとまた臭います。翌朝見回りに行ったら畑一面にスイカの種が散らばって

ました。うん??? 近づいたら一斉に飛び立ってゆきました。

w ( ̄△̄ ; ) w

ハエだ!

ご自宅の畑ではお勧めしません。



## リストバンド

玖珂 八木 謙

昨年、令和元年10月24日（木）に宇部のアクトビレッジで行われた「多数の死者を伴う大規模災害発生時における検視・遺族対応合同訓練」に警察医として参加した。警察、自衛隊、医師、歯科医師の4者で行う訓練である。今回で8回目の訓練となる。

雨の中の訓練であった。我々は体育館の中なので雨には濡れないが、自衛隊員は野外で合羽を着用し作業する。湖から遺体（人形）を引き上げ自衛隊のトラックに収容し体育館へ搬送する。我々は体育館内に設置された巨大モニターでリアルタイムの湖の映像を見ている。最初の遺体が運び込まれて来た。警察官が遺体を受け取り、発見された場所や遺体の状況等聞き取り、記録する。そのとき驚いた光景が目に入った。なんと遺体にリストバンドを装着しているのである。訓練に使用した遺体は三体。そのすべてにリストバンドが装着された。なぜこんなことに驚いたかという、これを提案したのが私だったのだ。前年の訓練の後の反省会で提案した。前々年の訓練は野外であった。野外での検視の訓練である。毎回条件を変えて訓練が行われる。災害で水が出ない設定とか、電気、電話が使えない設定とか。狭い施設しかない場所での検視とか、色々負荷をかける。野外訓練で遺体は遺体袋に収納され運びこまれる。発見現場で遺体袋に収容された遺体は検視の際、遺体袋から出され検視台に移され裸にする。裸にされた遺体には本人識別の何のマーカ―も付いていない。遺体袋の方にこの遺体の情報が紙に書かれ袋の表の透明なビニールのポケットに入れられる。しかし、ここは野外なのだ。空になった遺体袋が風で移動することもあるだろう、遺体袋の取り違えは起こり得る。ということは遺体の取り違えが

起こるということだ。

そこで私はこういう趣旨の提案をした。「私は産婦人科医なのですが、私が医者になった頃、赤ん坊の取り違いの事件がよく報道されていた。小学生、中学生になって血液型から両親が本当の親でないことが発覚した。出産した病院で記録を調べ、同時期にその院内で出産した子供が本当の子である事が分かった。分娩施設内で取り違えたのだ。だが、この30～40年間、赤ん坊取り違いの話は聞かない。赤ん坊の取り違いが皆無になった。それはどんな小さな産科施設でも赤ん坊に母親と同じ番号の足バンドを付けるようになったからだ。母親用の腕バンドと赤ん坊用の足バンドは最初くっついている。そして両方に同じ番号がついている。出産時まだ赤ん坊が分娩台の上に居て臍帯を切断するかしないかのときに、母親の目の前で同じ番号が付いていることを確認してもらい足バンドと腕バンドを切り離す。そしてそれらを母親と赤ん坊に付け退院まで外さない。この災害時訓練において袋から遺体を出す。そして遺体を裸にする。検視前に体に付着した土砂を水で洗い流す。この遺体には個人を識別する印がついていない。アメリカの刑事ドラマなどで刑事が遺体収容所に行き調査する場面がある。遺体が並んでいてその足には紐で板が付けられている。この板に印や番号が書かれている。車のナンバープレートと同じだ。この訓練でも袋に印をつけるのではなく、遺体の足にこうした板をつけるようにしたらどうだろう。複数の遺体と同じ場所に集められるときは必要だと思う」。

今回の訓練で私は2体目の遺体の検視を担当した。死亡確認、検視、指紋採取、歯科医の診察、検視結果の報告、死体検案書の作成。最後に

検視官と医師からの遺族への説明も臨場感をもって実施される。体育館内は騒然としている。訓練の途中、陣頭指揮を取っていた警部補が私に話しかけてきた。お偉方の警部、警視は後ろで見学している。警部補は言う。「先生の昨年のご指摘のおかげでリストバンドを採用することになりました。有難うございました。これは全国的に注目されて来ています」「それはよかった。半年前、病理解剖で遺体を取り違えたという事件もありましたね」「あれは解剖前にリストバンドを外したことがいけなかった。今後は家族に返すまで付けておくことになったようです。多数の死者を伴う災害時の検視に於いてはリストバンドはずーっと外さないということになりました。リストバンドを付けたままで火葬にしてもいい。灰になるだけですから」。

死ぬまで離さない、ではなく死んでも離さない。でもなくて死んでから灰になるまで外さないか。

畑違いの者の意見が役に立つことがあるものだ。全国から注目されているというから、やがて全国的に広がって行くのだろう。山口県警が最初に取り入れてくれたことは嬉しかった。病理解剖で遺体の取り違いがあったのだから、早晚警察にも取り入れられたとは思うが。

この訓練の2日後、私の娘が東京で出産した(写真)。これなら取り違えは起こらない。



# たつ 鶴が音

山口大学 しまふくろう

君が行き 日長くなりぬ 山たづの  
迎えを行かむ 待つには待たじ (九十)



イラスト：司馬さやか

この『万葉集』巻第二に採られた古事記の歌は、覚悟を決めた女性の強さを感じさせ、ぼくたちの胸を強く打つ。

標目では、<sup>かるのひつぎのみこ</sup> 軽太子と<sup>かるのおおいらつめ</sup> 軽大郎女が密通し、このため太子を伊予の湯（道後温泉）に流罪にした。この時に、「<sup>そとほりのおおきみ</sup> 衣通王、恋慕ひ堪へずして追い往く時に歌った歌」と説明されている。衣通王とは軽大郎女の別名で、その美しさは衣を通して輝くほどであったらしい。軽太子は允恭天皇の皇太子・木梨之<sup>かたちきらきら</sup> 軽太子である。「容姿佳麗しく見る者おのづからに感づ」と万葉集は謂う。

恋い慕う男女の麗しい愛情を窺わせるのだが、問題なのは二人が同母兄妹であったことである。当時においてもこの愛はタブーであった。古事記に曰く；

軽太子は思いを寄せる妹に歌いかける：

あしひきの 山田を作り 山高み 下樋を走せ  
下どひに わがとふ妹を 下泣きに  
わが泣く妻を こぞこそは 安く肌触れ

また歌う；

笹葉に うつや霞の たしだしに  
率寝てむ後は 人はかゆとも 愛しと  
さ寝しさ寝てば 菫薦の 乱れば乱れ  
さ寝しさ寝てば

破滅である。こうなると世間は許さない。まわりの者はすべて背いて、弟宮の<sup>あなほのみこ</sup> 穴穂御子に心を寄せた。さすがに軽太子も不安になったのだろう。宮廷を出て、大臣の<sup>おおもえおまへのすくね</sup> 大前小前宿禰の家に逃げ込んだ。この場合、儒教の教えでは、大臣は命を懸けて自分を頼って来た貴人を守り、討ち死にするのが習いだが、大臣は裏切り、<sup>あなほべのみこ</sup> 穴穂皇子（安康天皇）に太子を差し出した。

捕らえられた軽太子の歌：

あまだむ 軽の嬢子 いた泣かば  
人知りぬべし 波佐の山の 鳩の 下泣きに泣く

さらに歌う；

あまだむ 軽嬢子 したたにも 寄り寝て通れ  
軽嬢子ども

こうして軽太子は皇位を追われた。

伊予湯に流罪のときの歌：

あまとぶ 鳥も使いそ 鶴が音の  
聞こえむ時は わが名問はさね



イラスト：司馬さやか

また、歌った；

王を 島にはぶらば 船余り い帰り来むぞ  
わが暁ゆめ 言をこそ 暁と言わめ  
わが妻はゆめ

これに答えて、衣通王の返歌：

夏草の あひねの浜の 蠣貝に 足ふますな  
あかして通れ

こうして二人は離れ離れになったけれど、軽太郎女は恋しさに耐えきれず、ついに軽太子の後を追って、伊予の国に行かれた。そのとき読まれたのが冒頭に挙げた、万葉集にも採られた歌である。

待ち構えていた太子の歌：

こもりくの 泊瀬の山の 大丘には  
幡張り立て さ小丘には 幡張り立て 大小よし  
伸定める 思い妻 あはれ 櫛弓の  
臥やる臥やりも 梓弓 起てり起てりも  
後も取り見る 思ひ妻あはれ

また歌われた；

こもりくの 泊瀬の河の 上つ瀬に  
斎杵を打ち 下つ瀬に 真杵を打ち 斎杵には  
鏡を懸け 真杵には 真玉を懸け 真玉なす  
あが思ふ妹 鏡なす あが思ふ妻  
ありと言はばこそよ 家にも行かめ  
国をも偲はめ

再会した二人にはどんな会話がなされたのか。もうこの世に生きる希望もなくなったようだ。絶唱とはまさしくこの歌のこと。なんという愛の讃歌と絶望の歌だろう。

古事記は謂う；

如此歌、即共自死。故、此二歌者、讃歌也。

参考資料：

1. 「万葉集」伊藤 博 訳注 角川ソフィア文庫
2. 「古事記」倉野憲司 校注 岩波文庫
3. 「口語訳 古事記」三浦佑之 文藝春秋社
4. 「神々の流竄」梅原 猛 著作集⑧ 集英社



## 端（はしっこ、さきっぽ）その16

徳山 若林 信生

前回に引き続き、沖縄本島と離島の端を少し紹介しましょう。

沖縄本島の最北端が<sup>へどみさき</sup>辺戸岬である。沖縄本島は那覇を中心として南部が栄えており、中部までは米軍基地などありそれなりに賑わっているが、北部は昔ながらの原生林が多く、この地方をヤンバル（山原）と呼んでいて、未だに自然が多く残された地方である。この為に、ヤンバルクイナが正式に発見されたのは比較的最近の1981年（昭和56年）である。地元民には以前から変わった鳥がいる事は知られていたらしい。

現在は「やんばる国立公園」となっており、ヤンバルクイナも保護されているらしいが、それなりの開発と「ネコ」や「マングース」などの北上によりその数を減らしているそうである。とくに、ハブ対策として導入したマングースの北限とヤンバルクイナの南限が良く似ているとの事である。

あらゆる動物にとって“天敵は人間”であるかも知れないが、数が減っている原因の一つに、悲しいことに“交通事故”もあるとの事である。最近の20年間でも数百羽が交通事故で死亡しているらしい。しかしながら、以前は生息が確認された大宜味村や東村ではもはや見られなくなり、最近では国頭村にのみ見られていたのが、嬉しい事に一部にはマングースの駆除が行われて、この地方にも再び生存しているとの報もある。外来生物を入れると従来あった生態系が壊される典型的な例ではあるまいか。

このような自然豊かな沖縄北部は、那覇などの沖縄南部より約

200 km離れて不便な事も幸いしているのであろう。那覇中心部より、沖縄自動車道で許田ICまで行き、そこからは国道58号線で東シナ海側を北上すれば最北端が辺戸岬である。3時間余のドライブである。

駐車場の所には軽食が食べられる休憩所とトイレもある。駐車場から少し先に行けば崖の上の中央部に“祖国復帰闘争碑”が建っている。これは第二次大戦後も沖縄が長い間アメリカの統治下となっていて、日本との行き来もパスポートが必要であり、通貨もアメリカドルを使い、ある意味植民地のようなものであったことを示している。1972年（昭和47年）の祖国復帰に到るまで沖縄県民もいろいろ復帰運動など大変だったのであろう。このことを忘れまいと祖国に一番近いこの地に建てられたと聞く。果たして祖国復帰後に祖国は沖縄のその忖度に答えているのであろうか。

岬の周辺はサンゴ礁が隆起したために出来た崖となっている。岬の右手は太平洋、左手は東シナ



辺戸岬先端 祖国復帰闘争碑

海であり、遠くには鹿児島県の与論島が見える。ここまで来ると道中が長かったせいもあるが、さすがにはしつこまで来た実感できる。

ヤンバルクイナ展望台や辺戸岬灯台は少し離れた処に建っている。この灯台は円塔形で細く、白色、コンクリート製、高さ 11m、外側に梯子が付いた灯台で、初点灯は昭和 36 年である。

往復の交通だけでも 6 時間以上かかるが、是非行ってみたい“端”である。

石垣空港から 40 分足らずで行ける与那国空港のある与那国島は日本最西端の島である。小さな島で人口約 1,600 人、空港から車で 30 分もあれば島の隅まで簡単に行くことができる。日本の東西南北の突端があるうちの西の最突端がある島で、その最西端の西崎については私の拙文“端”に（平成 23 年の山口県医師会報 (No.1812)）述べている。日本の最も近い都市より台北の方が近い所である。また、台北よりも南にあると聞いて驚く。

十数年前に来た時と異なることと言えば、2016 年に自衛隊の駐屯地が出来たことであろうか。丘の上にレーダーのアンテナがあり立派な宿舎が出来たことである。南西諸島の海域がいろいろ騒がしくなってきた為であろう。

西崎は日本で最後の日の入りが見られる場所である。崖の上には日本最西端の石碑と日本最西端の西崎灯台がある。灯台は白く、円塔形、高さ 20m、コンクリート製で初点灯は昭和 32 年である。

ここから台湾が見える事があるそうだが、よほど気象条件の良い時で、年に数回の事らしい。

与那国島の最東端<sup>あがりさき</sup>が東崎である。与那国空港を降りてすぐ左側（東側）へどんどん向かって行けばよい。岬は「東牧場<sup>あがりぼくじょう</sup>」となっており日本在来馬で天然記念物になっている与那国馬や牛が放牧されている。行き止まりの駐車場からコン

クリート製の遊歩道が展望台まで続いている。このコンクリートの遊歩道にも牛や馬の糞がアチコチ落ちていますが、両側の緑の牧草地には新旧様々な糞が沢山落ちており、新鮮な糞を踏まないようによけて歩くのが大変である。

遊歩道のさきに立派な展望台があるが、私が行ったときは暑い時期だったからか、展望台の下や周辺には多数の牛や馬が涼んで休息しており、小心者の私にはそれをかき分けて展望所へ登る勇氣は無かった。

東崎灯台は突端の約 100m の断崖絶壁の上に建っており、白亜、円塔形、コンクリート製、高さ 10m で初点灯は昭和 47 年である。

ここからの風景は素晴らしく、360 度の展望で太平洋・東シナ海の果てしない海、岬の断崖、白亜の灯台、それと何よりも緑の牧草に碧い空と海、それに加えるにのんびりと牧草をはむ与那国馬や牛のいる風景は最高である。これと似た風景は寒さと粗食に耐え持久力が強い寒立馬<sup>かんだちめ</sup>がいる青森県の尻屋崎と日本在来種で天然記念物の御崎馬<sup>みさきうま</sup>がいる宮崎県の都井岬<sup>といみさき</sup>ぐらいであろう。その他北海道の能取岬<sup>のとりみさき</sup>もかなり似てはいるが・・・。

宮古島は沖縄本島と石垣島の間にある島である。この島で有名なのは東平安名崎<sup>ひがしへんなざき</sup>と伊良部大橋<sup>いらぶおほし</sup>ではあるまいか。

東平安名崎は宮古島の最南東端にある細長い半



東崎 与那国馬と東崎灯台

島であり、突端の方は幅の狭い長さ約2km、高さ約20mの崖が左右に続いている。宮古島の中心街や空港から約20km余、車で時間は30分余であり、東へ向かって行けば宮古島第一の観光地であるので案内標識はあちこちにある。行き止まりの広い駐車場の所には土産物屋やトイレもある。ここからよく整備された遊歩道を約500m歩けば突端の平安名崎灯台へ辿り着く。歩くのが嫌な人は観光のための人力車もある。

先に向かって行くと、両側の崖の下には“津波石”が多数ゴロゴロしている。昔、津波で運ばれてきた石らしい。近くはサンゴ礁の浅瀬でエメラルドグリーン的大海と、遠くは太平洋と東シナ海の果てしない碧い水平線である。半島の右側は太平洋で左側は東シナ海であり、ここからの風景は本当に素晴らしい。

平安名崎灯台はこの素晴らしい景色の先端に建っており、白い、塔型、八角形、コンクリート製、高さ25m、初点灯は昭和42年で、参観灯台なので上まで登れる。沖縄ではもう一つ本島の残波岬灯台が参観灯台であるのみである。そしてここは沖縄では唯一“日本の灯台50選”に選ばれた灯台である。白い立派な灯台らしい灯台と周囲の素晴らしい風景とが良くマッチして宮古島は勿論、沖縄全体でも有数の景勝地・観光地となっているのは当然の事であろう。

ここは“宮古島トライアスロン”の折り返し点



東平安名岬の平安名崎灯台

としても知られている所である。

宮古島は三角形に近い形をしているが南東に突き出た岬が東平安名岬で、北西に突き出した岬が西平安名岬である。東平安名岬は有名な景勝地であるが、一方、西平安名岬はあまり知られていない。

中心部から約15kmの距離で県道230号線を北に向かえばよい。北西に突き出した細い半島で、3つの風力発電の風車を過ぎれば突端は近い。行き止まりには駐車場があり、トイレと自販機と展望所がある。周囲はエメラルドグリーン的大海で、北を見ると池間島および池間大橋があり、西には伊良部島が見える。

東平安名岬とは異なり、高い崖もなく灯台もなし。穏やかで訪れる人もほとんどなく、静かに岬を独り占めできる。有名な端も良いがこの様な端もまた良い。

宮古島には東平安名岬と並んでもう一つ有名な観光地がある。伊良部大橋である。宮古島と伊良部島とを結ぶ大橋で無料の橋としては日本一長い。長さは3,540mでサンゴノシマまたはサンゴジョウともじったらしい。山口県が誇る角島大橋より、もう一つ規模が大きしいし、海の色もエメラルドグリーンの範囲が広くそれは素晴らしい。

宮古島は川が無い島のために、周囲の海水がとてもきれいなので、いろいろな種類のマリンスポーツが盛んであり、特にダイビングには良いとの事である。

海の水がきれいなのと、海岸の砂浜も白くきれいで、宮古島トライアスロンの出発点、与那覇前島ビーチは宮古島でも特に美しい海岸として有名な所である。真っ白な砂は日本の本土の砂と違ってサンゴが小さく砕けたものである。

沖縄は本島もいろいろ観光地があつて良いが、離島も素晴らしい島が多く、わたくし的には離島まで足を延ばすことを強くお勧めしたい。

# 俳句ギャラリー

ふしの句会（山口市医師会）

宮殿へ流れは尽きず初参賀  
偕老を祝ひ酌み交ふ屠蘇の杯  
謡声の調子も良けれ初湯かな

坂本 強

札止の小屋に柝の鳴る小六月  
顔見世やまねきの文字も見得を切り  
肩こりの解れにくさや冬に入る

佐々木映子

伊勢の神代返たのみ神の旅  
秋津島神渡シなくつい怠け  
神の旅遅刻せしゆえ宿はなく

杉山 元治

月影に青いオリオン腕延ばし  
老忍者手を振り落葉風に舞ふ  
紅葉散る老年俗徒禅問答

末兼 浩史

蹲の水に止まりぬ秋の空  
仮の世の道消してゆき紅葉散る  
仏蘭西の新酒どうぞと女店員

成重 隆博

秋の日の惑乱の水治れよ  
ラグビーは惑乱で無しワンチーム  
多品種の柿が竝んで惑乱す

淵上 泰敬

即位儀の十二単や秋澄めり  
用もなく縁側に座す小春かな  
年経ても正座で賀状恩師宛て

今村 孝子



## 狂(違)っちゃいないぜ

下関市 塩見 祐一

原題は『Pushing Tin』なる業界用語で、普通の英和辞典には載っていない。表題の如く上手い意識をしたコノ映画は、思っただけでも大変な職業だろう航空管制官のライバル二人が、狂わんばかりに働く姿を描いたコメディっぽい作品だった。ここでロマンスが出てくるのは不謹慎に思えるが、意外や！それぞれのお相手が今を時めくアンジェリーナ・ジョリーとケイト・ブランシェットだから見逃せない。綾小路きみまろの名セリフ「あれから〇十年」の世界だ。名前も忘れてしまった主演男優と違い、今じゃ助演二人は押しも押されぬハリウッドのビッグ女優になっている。

さて、副題に移る。

若いころ、転勤で病院を変わってからしばらくの間や臨時でバイトに行った先の病院で困ったのは薬の名前だった。今みたいに一般名表示がなかったり、逆に病院独自の約束処方があったりで、苦労したことを憶えている。

忘れようにも忘れられない薬名なら、昔「ヨーデル」、今「アレンドロン」。ご存じのように前者は便秘薬で♪レイホロロ〜と“よく出る”気がする語感があり、後者はジェネリック骨粗鬆薬で『太陽がいっぱい』の彼の人と一字違うだけだから。

ここ最近、僕のところで面白かったのは漢方薬の「麻黄附子細辛湯」と時代劇定番“癩”の薬の由来の「ウルソ」。前者は若いころはサゾカシ美貌を誇ったとお察しされるご夫人が「先日の“麻黄ブス”で風邪も治ってきたので、もう少し“麻黄ブス”をのんでみたいのですが」と、後者はムツケキ酒飲みのシニアが「あの“ウルフ”はよう効くし、“ウルフ”の名前もエエ」だって。兩人ともこちらが誤りを指摘できないほど、あまりに

自信たっぷりの言い間違いだった。

懐かしいところでは、現役の時は部下に厳しかったと評判の御仁。ヘビースモーカーで喉がいがらっぽいのに禁煙は出来ず“ブローチ”がほしい”とおっしゃる。強持てのアノ顔に甘ったるい「トローチ」である。

そこで、僕はそれを何故オカシイと感じるのかについて考えた。やはり、ズレないしギャップかなあ。そして、言った本人は全然気づいていないで真面目そのものだからだろう。よって、次に他の例を示してみる。

①ピロリ菌の発見によりウォレン博士とマーシャル教授がノーベル賞を受賞されたのが2005年で、その翌年には何とも腹立たしい下関駅放火事件があった。それまでは、まだ、その一角に小さな本屋さんがあった。ある日のこと。大きな声で店員さんに「ペロリ菌のことを書いた本はあるかいね」と聞く初老女性あり。店員さんも「何ですか、そのペロキン（とのきん or たのきんトリオはあったが）って？」と困っていたけれど、お二人に恥をかかせちゃいけないと黙っていた僕であった。

②最近のテレビでは頻りにタレントさんが自分のがんを公表している。しかも、一気に「ステージ4です」と。でも、あれってどうなのかなあ。近藤 誠 著『患者よ、がんと闘うな』と一緒に百害あって一利なしじゃないのかなあ。この前から、一人は紹介病院からの返事に「早期がん」と書いてあったのに「ステージIVだったのに助けてもらって帰ってきました」とか、「ステージV(?)のがん治療後5年以上経っているがどうもない」と言われる患者さんが続いた。おそらく、Group

か Class の聞き間違いじゃないの。二人とも治療してもらった先生を崇めているけれど、紹介した専門が何にもナイ（内）科の僕の立場はナイ（無い）かい。マア、重たい癌が身近な病気になったのは良いことだけれど。

③ 30 年以上前になるかなぁ、勤めていた病院もコンピュータ・システムの導入が決まった。その説明会のために大会議室に各部門から大勢召集された。議事は進行し最後の質問のコーナーになった。そこでヤオラ、定年間近で僕と同じにメカに弱そうな婦長さんが手を挙げて発言された。「こういったシステムの“リメット”は何なのでしょうか」を手始めに、「リメット！リメット！」と連発された。誰も笑わなかった。彼女は一生懸命だったし声も震えていたからである。

他人を笑う場合、自分の失敗談も披露するのが礼儀だろう。その昔、とある海外のレストランにて。ツアーの場合のトイレは集中するので、僕は

食事やお買いものタイムの最中に行くことにしている。当日の出発は早かったので昼食時に大の方をモヨウしてきた。急いでトイレに直行し、左側の一番奥を目指し、ことを済ませた。ドアを開け出口に向かおうとすると、運悪く次のツアー客の団体が入ってきた。みんな女の人ばかりでうつむいている。一人だけ、金髪のボーイッシュでリュックを背負ったノッポさんが僕を見てニコニコしている。ハットして restroom の反対側を見た、何と！真っ白な壁しかなかった。何ごとにもおおらかでない今みたいな情報社会なら「〇〇！」と軽犯罪法違反に当たる赤面ものを僕はヤッテシマッチャッタ。



# 白隠禅師と「内観の法」「軟酥の法」

徳山 篠原 淳一

江戸中期の臨済宗再興の祖に白隠慧鶴禅師がいます。自ら公案禅を考え出して雲水修行に取り入れた人物です。これが「禅問答」と呼ばれるもので、老師と雲水がひとつの公案を巡って延々と禅問答を繰り返すわけですが。禅問答は常識的思考を離れて「禅的発想」を練り上げるためのもので、現在も臨済宗各派の雲水専門道場で行われているようです。

臨済宗では座禅の中ほどに「白隠禅師座禅和讃」を全員で唱和しますが、「衆生本来仏なり。水と氷の如くにて水を離れて氷なく衆生のほかに仏なし……」と座禅の本質を簡潔に詠ったものです。

この白隠禅師は博多の仙厓和尚と同様、今なお「白隠さん」と親しまれている人物です。彼が若い頃、厳しい座禅修行で「禅病」なるものに取り憑かれました。

今でいう神経衰弱様の症状で、せん妄症状や手足の冷え、食思不振を伴った神経症圏の症状と考えられます。

江戸中期は庶民の生活は全くの粗食で衛生環境も劣悪だったと推測されます。これに禅宗の荒行が引き金になったのでしょうか。白隠さんの禅病は「荒行に魔が差した」といったところでしょうか。実際に座禅堂で深夜に座禅を続けていると天井が逆さになったり、いない人の姿が見えかくれしたり、人の声が聞えてくることあるそうです。よくある現象で「禅天魔」という魔境のことを指します。

これには静かな座禅堂の感覚遮断が影響していることが考えられます。

当時の白隠さんの禅病は有名な話で、この治療のため「内観の法」や「軟酥の法」を自ら考え出し、禅宗の後進に実際に指導しています。「内観の法」

とは臥床禅とよばれるもので、仰臥したまま丹田から両足にかけての範囲に意識を置くため、四つの公案を静かに唱えます。

また、「軟酥の法」とは頭の上に鶏卵ほどの軟酥（良い香りのするクリームのようなもの）の塊があるとイメージし、それが溶けて流れ出し体の悪い部分を浸して症状を洗い流してしまうと瞑想する方法です。

当院ではリラクセーションのため自律訓練法をとりいれていますが、その方法が大変よく似ています。白隠さんは江戸時代、すでにこういったリラクセーション法を自ら発案していたわけです。

最近の学会報告で「白隠と禅病」と題した演題がありましたが、私は大変興味深い事実と思いました。

### 参考文献

白隠 著「夜船閑話」「遠羅天釜」など

